学校訪問

部活動

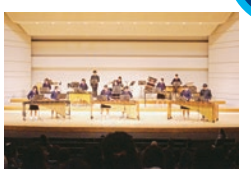
第四中学校

荒川6－57－1

生徒が部活動を紹介します

音楽部

▲この楽器がマリンバです



▲「吹奏楽のつどい」で演奏を披露しました

私たち荒川四中音楽部は、3年生4人、2年生9人、1年生5人の計18人で活動しています。基本的には、月・木・金の週3日間活動しています。演奏会などが近くなると講師の先生をお招きして、ほぼ毎日の放課後と必要に応じて朝も練習をしています。昨年度は、文化祭での演奏の他にも、区主催の「吹奏楽のつどい」や区立中学校「合同演奏会」などに参加しました。

四中の音楽部には吹奏楽器はなく、マリンバやパーカッションを中心としたアンサンブルをしています。また、吹奏楽部と違い、担当の持ち楽器はありません。その曲ごとに、自分のやりたいパート、楽器を使って演奏することができます。今、私たちは7月の「あらかわ社明コンサート」で演奏する『となりのトトロ』や『小さな恋のうた』などの曲を練習しています。

顧問の先生は、片桐先生と西貝先生です。とても優しく、時には厳しく教えてくださります。夏休みなどの長期休業中も、私たちのために多くの練習時間をとり、見てくださっています。

四中音楽部では、アンサンブルで重要な、気持ちを合わせることと思いやりを大切にしています。いつも笑顔が絶えなく、学年関係なく仲良しです。今日も新入部員を迎え、元気に活動しています。

執筆　部長　3年　藤本來夢

学校自慢

第三瑞光小学校

南千住7－9－1

学校の自慢を児童が紹介します

▲日本の伝統文化の茶道を学んでいます

▲新しくできた第二校舎の玄関です

三瑞小の自慢できることはたくさんあります。その中から三つ紹介します。

一つ目は、第一校舎と第二校舎があることです。第二校舎はとてもきれいで、保健室や給食室、エレベーター、多目的室、さらには、やまぼうし広場と呼ばれる場所や屋上でも遊べます。

二つ目はさまざまな行事があることです。一～三年生は学校に茶道の先生をお招きし、四～六年生は毎年三月のひなまつり茶会でお茶の作法を学習します。日本の伝統文化を体験できるとてもよい機会だと思います。

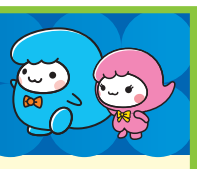
三つ目はさまざまなクラブがあることです。ボールゲームクラブや卓球や運動クラブだけでなく、料理や手芸、ダンスクラブもあります。今年から昔遊びクラブもできました。毎回、四～六年生が楽しんで活動しています。

◀クラブでは、みんなで楽しく体を動かしています

私たちは来年には三瑞小を卒業します。そう思うと少しさみしいです。でも、三瑞小のよさを残せるように、下級生のみなさんに引き継いでもらいたいです。

執筆　6年　石川紗弥子
森羽七
鈴木花歩
矢田千紘

尾久初空襲を語り継ぐ公開授業が実施されました



4月15日、第七中学校で「尾久初空襲を語り継ぐ公開授業」が行われました。これは、日本本土で初めて受けた空襲の歴史的意義や戦争の悲惨さを伝えるものです。実際に空襲を体験した方からの話を、参加者は真剣な表情で聞き入っていました。

▶空襲を受けて逃げる様子が詳しく語られました

防災部活動レポート

区立全中学校

ジャパン・レジリエンス・アワード　3月15日

3月15日、ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2017の表彰式が行われ、中学校防災部が特別賞を受賞しました。「助けられる人から助ける人へ」を合言葉に、地域との連携や防災に関する活動などが評価されました。

▲表彰式で西川区長が代表して賞状を受け取りました

▲3月に開催された「あらBOSAI」での放水訓練の様子

あらかわ今昔ものがたり

あらかわの歴史と伝説

その108　道灌さんとあらかわ②

―幻の城・石浜城と道灌さん―

道灌山（西日暮里四丁目）が、太田道灌さん所縁の地名だということ、みんな知っているよね。山の上に道灌さんの出城があり、物見台が築かれたと言われている。日暮里駅前に建つ馬に乗った道灌さんの銅像は、日暮里との関わりを伝えるためにできたんだね。

ところで、道灌さん所縁のお城がもう一つあるんだけど知ってるかい？

それはね、南千住三丁目の石浜神社の辺りにあったと言われる「石浜城」というお城だよ。

幻の城・石浜城

ここは、古代から使われてきた「隅田の渡し（橋場の渡し）」という渡し場があったところで有名だ。平安時代のさまざまな命令や決まり事を記した「類聚三代格」という本や、「伊勢物語」東下りのお話にも登場するんだよ。

都から東北に向かう重要な道路が通っていたので、沢山の人びとが利用した重要な渡し場なんだ。

平安時代の終わりごろ、そんな重要な場所に江戸重長さんが館を築いた。これが石浜城と呼ばれるようになるんだよ。

石浜城は、天守閣があるお城とは違うけど、歴史に度々登場するんだ。残念ながら遺跡は見つかっていない。その姿を今だ現さない幻の城なんだよ。

堅固な砦・石浜城

隅田川近くにあった石浜城は、なかなか落とすことが難しい城だったそうだ。南北朝時代の文和元年（1352年）、多摩地区で起きた武蔵野合戦の際、10万の新田軍に破れた足利尊氏が石浜城に逃げ込んだ。尊氏はここで体勢を建て直し、その後新田軍を蹴散らしたんだ。このことは有名な軍記物「太平記」に書かれているんだよ。

千葉兄弟を助けた道灌さん

室町時代、太田道灌さんは江戸城を築き、現在の荒川区・北区・豊島区・板橋区・練馬区周辺を治めていた豊島氏を滅ぼして、全てを支配することになった。

同じころ石浜城を手に入れた道灌さんは、石浜辺りの隅田川の景色がお気に入りで、京都から江戸にやってきたお友だちと船遊びをしたんだよ。道灌さんは下総国（千葉県）で一族の戦いに破れて逃げてきた千葉氏の本家の千葉実胤、自胤兄弟を助け、兄の実胤君を赤塚城（板橋区）、弟の自胤君を石浜城に入城させたんだってさ。

今度、石浜神社や石浜城に因んだ石浜城址公園に行って、太田道灌さんの活躍をイメージしながらお散歩してみてね。

石浜城址と伝わる石浜神社境内

問合せ　荒川ふるさと文化館　☎（3807）9234

R70 古紙配合率70%再生紙を使用しています。